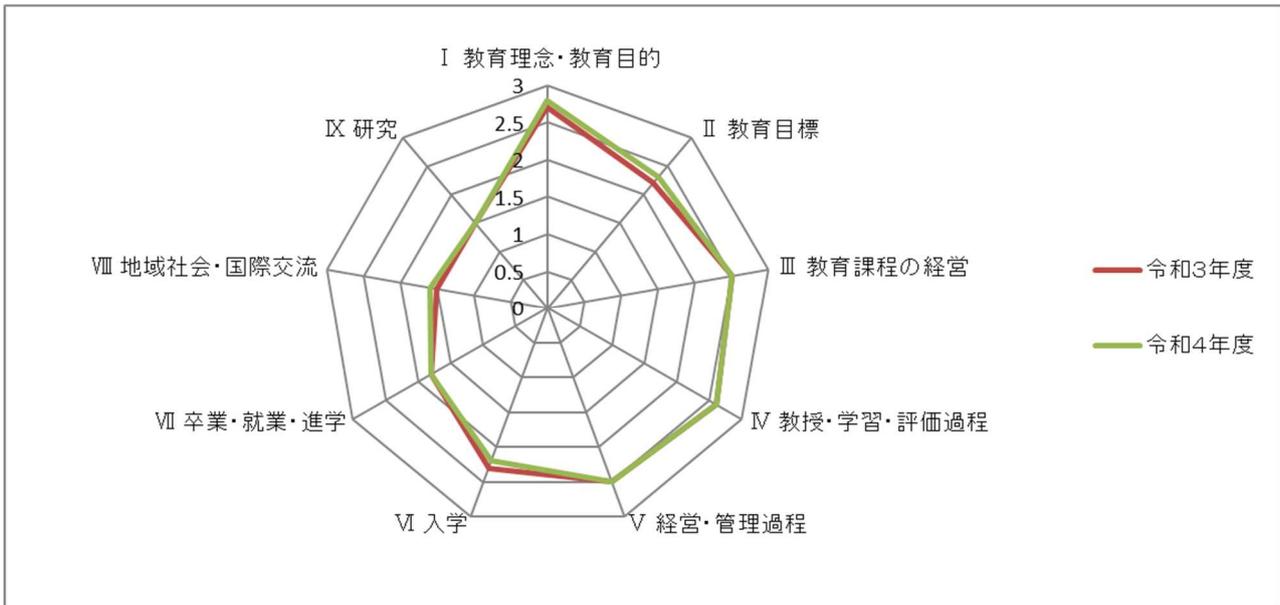


# 令和4年度 自己点検・自己評価まとめ

和歌山県立なぎ看護学校

## 【評価方法及び評価点数】

カテゴリⅠからⅨまでについて、全職員及び学校関係者が評価を実施した。学校の職員は、「当てはまる：3点」、「やや当てはまる：2点」、「当てはまらない：1点」として該当するそれぞれの項目（合計174項目）について評価し平均値を算出した。



## 【現状及び今後の取組】

- 「Ⅰ. 教育理念・教育目的」、「Ⅱ. 教育目標」、「Ⅲ. 教育課程の経営」、「Ⅳ. 教授・学習・評価過程」について、新カリキュラム実施の初年度であった。次年度は、新カリキュラムの評価を実施する。また、教育理念や目的の達成度については学生と教員による評価を継続し、達成率の低い目標への具体的な対策の検討を行っていく。
- 「Ⅴ. 経営・管理過程」について、教員の負担軽減については主管部局とも十分連携し、人員の確保を図っていく。また、教員確保のために、卒業生等に対し、採用試験等の案内に努める。
- 「Ⅵ. 入学」に関しては、令和元年度から実施している高等学校訪問を、教育学習アドバイザーの同行のもと実施し、当校が望む学生像を伝えるとともに、ホームページや広報誌、オープンキャンパスによる学校紹介を実施し、学生確保に努める。また、社会人を含めた学生確保について検討する。
- 「Ⅶ. 卒業・就業・進学」においては、平成28年度より卒業生が減少しており、令和3年度は34名、令和4年度の卒業生数は28名であった。卒業生が減少した主な理由は、進路変更を理由とした退学や単位未修得による卒業延期である。学生の背景が多様化しており、学力やモチベーションの個人差が大きい。学生への指導は、保護者とも十分連携し、個別性を考慮し支援していく。  
就業については、卒業生の約8割（進学者除く）が県内と三重県内への就職であり、増加している。実習協力病院との連携を強化し、今後も引き続き地域の看護師確保に貢献していきたい。
- 「Ⅷ. 地域社会・国際交流」については、学生自治会による近隣の福祉施設との交流や学校祭を通じて、地域に根付いた学校として存続していきたい。